

鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進

【令和2年度予算額 10,170 (10,369) 百万円】
 (令和元年度補正予算額 499百万円)

<対策のポイント>

- 野生鳥獣被害の深刻化・広域化に対応するため、**地域関係者が一体となった被害対策の取組**や、**ジビエ利用拡大に向けた取組**を支援します。
- シカによる森林被害の防止に向けて、広域かつ計画的な捕獲のモデル的实施、**捕獲等の新技術の開発・実証**及び**国土保全のためのシカ捕獲等**を行います。

<政策目標>

- 深刻な農作物被害を生じさせているシカ、イノシシ、サルの捕獲を強化
- 野生鳥獣のジビエ利用量の拡大

<事業の内容>

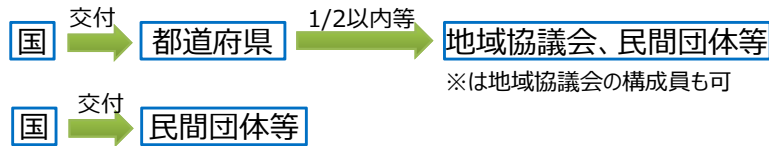
<事業イメージ>

1. 鳥獣被害防止総合対策交付金 10,010 (10,227) 百万円 (R元補正 499百万円)

市町村が作成した「被害防止計画」に基づく取組等を総合的に支援します。

- **侵入防止柵(再編整備含む)**、ジビエ処理加工施設(保冷車等含む)、焼却施設、捕獲技術高度化施設の整備 等※ [1/2以内、侵入防止柵の資材費のみ交付対象とする場合は定額支援]
- **地域ぐるみの被害防止活動**、ジビエ利用拡大の取組、スマート捕獲、**捕獲現場及びジビエ処理加工現場でのOJT研修**を支援 [1/2以内、取組状況に応じた限度額内で定額支援]
- 都道府県が実施する広域捕獲活動、新技術実証活動等を支援 [2,300万円以内を定額支援]
- 捕獲活動経費の直接支援 [獣種やジビエ利用の有無に応じた上限単価以内で定額支援]
- **未利用部位等のペットフード等への活用に向けた新規用途調査等** [定額]
- ジビエの全国的な需要拡大のため、プロモーション等への取組を支援 [定額]

<事業の流れ>



〔総合的な鳥獣被害対策〕

侵入防止柵の設置・再編整備や捕獲機材の導入 | 刈り払い等による生息環境管理 | 捕獲活動経費の直接支援

〔ジビエ利用拡大に向けた取組〕

国産ジビエ認証に必要な知識等の習得等による衛生管理の向上 | 金属探知機等衛生管理に必要な設備の導入 | ジビエカー・ジュニア等の導入による、広域からの搬入

モデル地区の取組を横展開

〔スマート捕獲による捕獲の効率化〕

ICTを活用した罠等の実装を通じて、「スマート捕獲」を実現

〔捕獲者、処理加工施設人材育成〕

捕獲現場、処理加工現場でのOJT研修

現場経験が実際の被害対策に役立つ | 先進的な技術を習得

〔未利用部位等の新規用途調査〕

ロース等は食肉へ | スネ等の未利用部位 | ペットフード等、余すことなく有効活用

廃棄していた部位の有効活用により、ジビエ利用量の拡大を図るとともに、施設経営を圧迫していた処分経費の縮減に寄与

2. シカによる森林被害緊急対策事業 160 (142) 百万円

- シカ被害が深刻な地域等におけるモデル的な捕獲、捕獲手法のマニュアルの整備、**森林のシカ被害対策に有効なICT等を活用した新たな捕獲技術の開発・実証**等を実施
- 国有林野内の高標高域や奥地天然林等において、**効率的な捕獲事業**を実施 等

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

- (1の事業) 農村振興局鳥獣対策・農村環境課鳥獣対策室 (03-3591-4958)
- (2の事業) 林野庁研究指導課森林保護対策室 (03-3502-1063)

〔モデル的な捕獲・普及〕

林業関係者への捕獲手法の普及

〔ICT等を活用した新技術の開発・実証〕

赤外線センサーによるシカ越冬地の探査

〔国土保全のためのシカ捕獲〕

捕獲により植生への食害・表土侵食を防止